

平成26年度事業計画

当協会は、公益財団法人へ移行後2年目を迎え、今後も新公益法人制度の下での適切な事業運営に努めるものとする。

平成26年度においては、引き続き畜産、乗馬及び地方競馬に必要な機械施設等の導入への支援等により、畜産経営の近代化及び畜産物の生産流通の改善合理化等を図り、その安定的な供給に資するとともに、乗馬の普及及び地方競馬の振興に資することとし、貸付需要の動向等に的確に対応しつつ、公益目的事業として次の事業を実施する。

1. 畜産関係施設貸付事業 事業費3,700百万円(前年度3,700百万円)

(1) 飼料生産利用施設貸付

草地の造成整備及び飼料作物の生産を促進するため、草地造成用機械施設及び自給飼料生産利用機械施設を貸し付ける。

事業費 2,050百万円 (前年度 2,050百万円)

(2) 家畜家きん飼養管理施設貸付

生乳の生産流通の合理化と乳質の改善向上、家畜家きんの飼養管理及び衛生管理の改善向上を図るため、搾乳施設、生乳冷却貯蔵施設、生乳検査機械、精液保管等施設、畜舎環境改善機械施設、中小家畜管理機械施設を貸し付ける。

事業費 1,271百万円 (前年度 1,271百万円)

(3) 家畜畜産物流通施設貸付

家畜市場機械の近代化、食肉、食鶏及び鶏卵の処理加工、流通の合理化を図るため、家畜市場機械施設、食肉食鶏及び鶏卵の処理流通機械施設を貸し付ける。

事業費 229百万円 (前年度 229百万円)

(4) 特認機械施設貸付（その他機械施設貸付）

上記のほか、ふれあい牧場関連施設等畜産振興上特に必要と認める機械施設を貸し付ける。

事業費 150百万円 (前年度 150百万円)

2. 乗馬施設貸付事業

乗馬の普及を促進するため、乗馬クラブで使用する簡易式厩舎、馬運搬車、馬具等の乗馬施設を貸し付ける。

事業費 165百万円 (前年度 165百万円)

3. 地方競馬用施設貸付事業

地方競馬の振興を図るため、大型映像装置、投票券発払機、無停電電源設備、作業用機械等地方競馬主催者の事業運営に不可欠な機械施設を貸し付ける。

事業費 2,500百万円 (前年度 2,500百万円)

4. 調査研究及び普及啓発等事業

(1) 調査研究事業

畜産及び馬事の振興に資するため、前年度に引き続き牛群健康管理省力化モニタリング技術の開発及び馬の調教におけるテントドーム型覆馬場の活用その他の調査研究を行う。

事業費 15百万円 (前年度 15百万円)

(2) 馬事・畜産活性化推進事業

馬事及び畜産の活性化に資するため、地方競馬における認定競馬活性化計画を補完する事業及び馬事・畜産の普及啓発を推進する事業に対して助成を行う。

事業費 10百万円 (前年度 10百万円)